

法 学 第 2 0 3 号
平成 28 年 5 月 20 日

三 愛 学 舎 学 校 長
学校法人カナン学園理事長 } 様

岩手県総務部法務学事課私学・情報公開課長

平成 28 年度特別支援教育教育課程等研究協議会の実施について
このことについて、別添のとおり通知がありましたので、お知らせします。
なお、参加を希望される場合は、平成 28 年 6 月 3 日（金）までに関係資料を当課あて提出願います。
また、参加にかかる経費については、当方では負担しかねることを申し添えます。

記

1 提出書類

- (1) 参加者名簿【別紙様式 1】
- (2) (参加する障害種別部会ごとに 1 部) 協議議題に関する資料【別紙様式 2】

2 提出先

岩手県総務部法務学事課私学振興担当 中村あて

E-mail : AH0007@pref.iwate.jp

※メールにて回答をお願いします。

3 提出期限

平成 28 年 6 月 3 日（金）

【担当】私学振興担当 中村

電話 019-629-5041 FAX019-629-5049

メールアドレス : AH0007@pref.iwate.jp

事 務 連 絡
平成28年5月18日

各都道府県教育委員会特別支援教育主管課
各指定都市教育委員会特別支援教育主管課

御中

関係各都道府県私立学校主管課
附属特別支援学校を置く各国立大学法人事務局

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課

平成28年度特別支援教育教育課程等研究協議会の実施について（依頼）

文部科学省では、平成21年3月に公示した特別支援学校学習指導要領等に基づく教育課程の編成、実施上の課題について協議、情報交換等を行い、もって特別支援教育の改善及び充実を図ることを目的として、標記の研究協議会を別紙実施要項により開催することとしました。

については、下記により参加者の登録及び資料の提出を御願いますので、参加くださいますよう御願います。

記

1 提出資料

(1) 参加者名簿

研究協議会への参加者について、別紙様式1により提出して下さい。

(2) 関連資料

障害種別部会ごとの協議会提出資料を、別紙様式2①～⑥により提出して下さい。（参加する障害種別部会ごとに1部ずつ）

※ 別紙様式2の各設問の記載内容を具体的に示す資料があれば併せて提出して下さい。

※ 別紙様式2の作成に当たっては、記入方法を確認下さい。なお、別紙様式2の提出にあたり枚数制限はありません。

※ 別紙様式2は、文部科学省において印刷の上、障害種別部会において配付します。

(別紙)

平成28年度特別支援教育教育課程等研究協議会実施要項

1. 目的

平成21年3月に公示した特別支援学校学習指導要領等に基づく教育課程の編成、実施上の課題について協議、情報交換等を行い、もって特別支援教育の改善及び充実を図ることを目的とする。

2. 主催

文部科学省

3. 開催期日

平成28年7月11日(月) 午前10時から午後4時30分まで

4. 場所

国立オリンピック記念青少年総合センター(別添地図参照)

全体会:カルチャー棟大ホール

障害種別部会:センター棟

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号

5. 日程

9:30	10:00	11:20	目途	16:30
受付	開会	全体会 行政説明 等	部会・協議等(移動・昼食時間含む)	

※ 受付は、カルチャー棟大ホール入口。

※ 昼食時間の設定は、各部会により異なる。

6. 部会

次の6部会とする。

視覚障害教育、聴覚障害・言語障害教育、知的障害・自閉症・情緒障害教育、
肢体不自由教育、病弱・身体虚弱教育、LD・ADHD等教育

※ なお、各部会において関連する障害種の特別支援学級、通級による指導に関する内容も
取り扱うものとする。

※ LD・ADHD等教育部会では、高機能自閉症などのある児童生徒に対して行う通級に
よる指導も取り扱うものとする。

7. 内 容

各参加者からの提出資料等を踏まえ、行政説明及び協議等を行う。

8. 参加者

(1) 都道府県・指定都市教育委員会

(i) 参加者

協議会後に各都道府県・指定都市において協議会の内容を普及することを前提として、各都道府県・市町村教育委員会、教育センターの指導主事又は特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭等のうち、教育委員会の推薦する者

(ii) 参加人数

各都道府県・指定都市につき、部会ごとに1名を基本とする。

(2) 国立大学附属特別支援学校

(i) 参加者

参加を希望する国立大学附属特別支援学校の校長、副校長又は教員(協議会後に各学校において協議会の内容を普及することを前提とする)

(ii) 参加人数

各学校につき、部会ごとに1名を基本とする。

(3) 私立特別支援学校

(i) 参加者

参加を希望する私立特別支援学校の校長、副校長又は教員等(協議会後に各学校において協議会の内容を普及することを前提とする)

(ii) 参加人数

各学校につき、部会ごとに1名を基本とする。

※ 参加者の登録方法

- ・ 各都道府県・指定都市の参加者については、各都道府県・指定都市においてとりまとめ、文部科学省に登録すること。(各都道府県において、域内の指定都市についてとりまとめる必要はない。)
- ・ 各私立特別支援学校の参加者については、各都道府県私立学校担当部局においてとりまとめ、文部科学省に登録すること。
- ・ 各国立大学附属特別支援学校の参加者については、附属特別支援学校を置く国立大学法人においてとりまとめ、文部科学省に登録すること。

(4) 参加にかかる経費

参加にかかる経費については、所属先で負担する。

9. 持参資料

次の資料を持参すること。（※資料はデジタルデータでも可）

- ・ 特別支援学校
 - 幼稚部教育要領、小学部・中学部学習指導要領、高等部学習指導要領
- ・ 特別支援学校学習指導要領解説
 - （「総則等編（幼稚部・小学部・中学部）」 「総則等編（高等部）」 「自立活動編」）

10. 会場

いずれも国立オリンピック記念青少年総合センター内の会場

全体会		カルチャー棟	大ホール
障害 種 別 部 会	視覚障害教育部会	センター棟	401号室
	聴覚障害・言語障害教育部会		402号室
	知的障害・自閉症・情緒障害教育部会		501号室
	肢体不自由教育部会		310号室
	病弱・身体虚弱教育部会		311号室
	LD・ADHD等教育部会		309号室

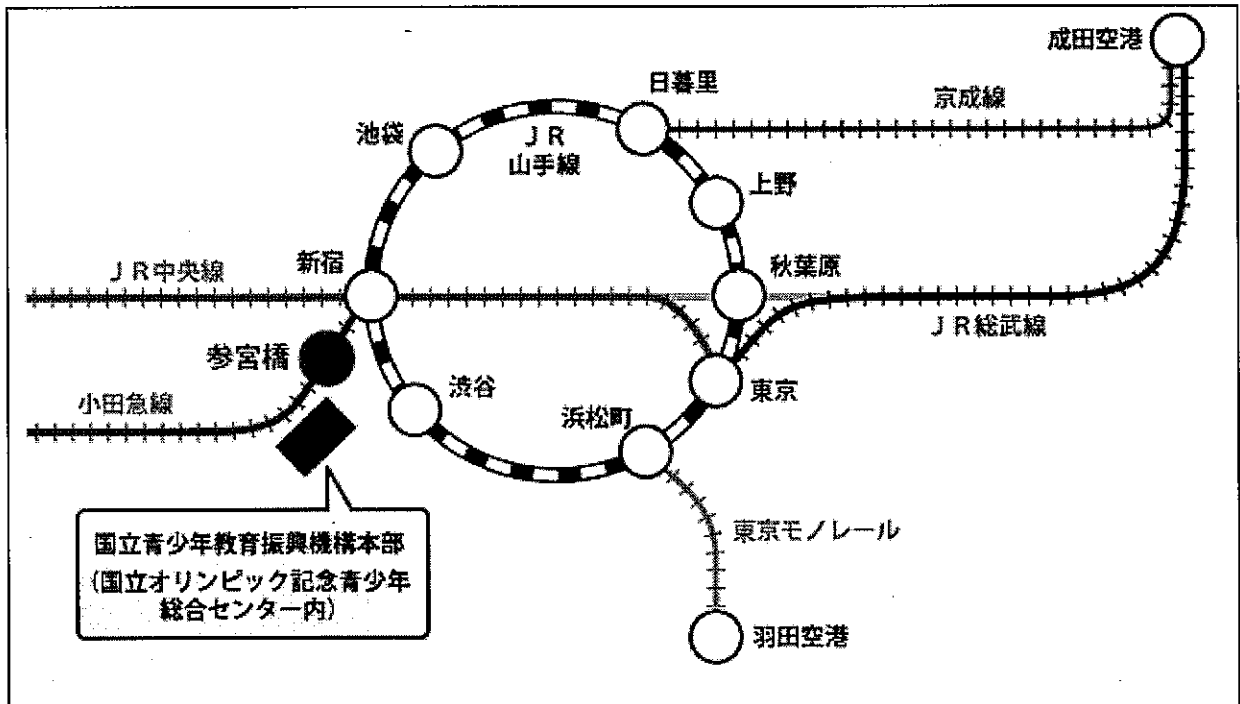
11. その他

- ・ 本協議会の内容を録音する場合は、概要を周知するための備忘録用としての録音に限り、録音内容のインターネット・メール等で頒布や録画はしない。
- ・ 宿泊については各自で準備する。
- ・ 会議室内での食事はできないので、昼食持参の場合は注意すること。
（センター棟廊下ベンチ、国際交流等売店前スペース、又は屋外のベンチ等でお願います。）
- ・ その他、会場の情報やレストランの詳細などは参加者自身で国立オリンピック記念青少年総合センターのホームページを確認すること。

(別添地図)

国立オリンピック記念青少年総合センター アクセス

ホームページ <http://nyc.niye.go.jp/>



JR 東京駅から JR 中央線 約 14 分→新宿駅乗り換え小田急線各駅停車 約 3 分→参宮橋駅 下車 徒歩約 7 分

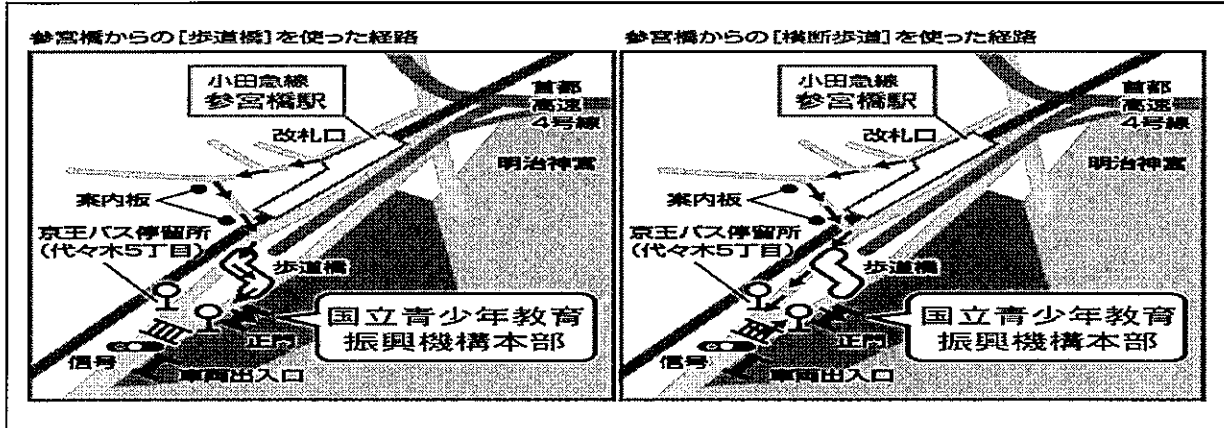
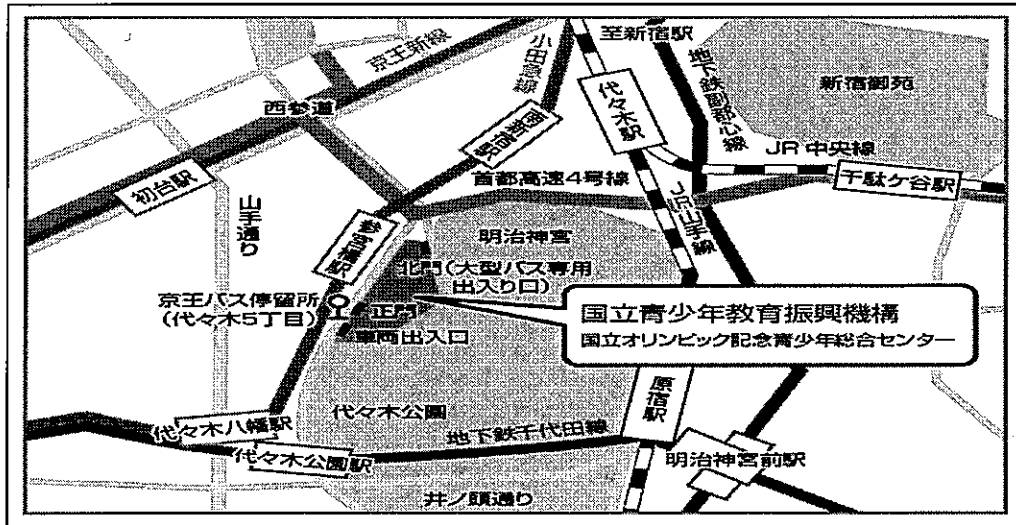
小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約 7 分

地下鉄千代田線 代々木公園駅下車(代々木公園方面 4 番出口) 徒歩約 10 分

羽田空港から 東京モノレール 約 23 分 浜松町駅乗り換え→JR 山手線(外回り) 約 23 分 新宿駅乗り換え
→小田急線 各駅停車 約 3 分→参宮橋駅 下車 徒歩約 7 分→京急本線 約 16 分 品川駅乗り
換え→JR 山手線(外回り) 約 23 分 新宿駅乗り換え→小田急線 各駅停車 約 3 分
→参宮橋駅 下車 徒歩約 7 分

成田空港から JR 総武線 成田エクスプレス 約 80~90 分 新宿駅乗り換え→小田急線 各駅停車 約 3 分
→参宮橋駅 下車 徒歩約 7 分

京王バス 新宿駅西口(16番)より 代々木5丁目下車 渋谷駅西口(14番)より 代々木5丁目下車



施設の案内 Map of the Center

国立オリンピック記念青少年総合センター
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号
申込受付専用電話 03(3469)2525 FAX. 03(3469)2277
ホームページ <http://nyc.nyie.go.jp>

● 飲食 DINING HALL	● コffeeコーナー COFFEE SHOP	● サービスコーナー(宅配室) SERVICE CORNER
● レストラン RESTAURANT	● 売店 SHOP	● コインランドリー COIN LAUNDRY
● 化粧室 BATH ROOM	● 自動販売機 VENDING MACHINE	● オート/11対応14V MULTI-PURPOSE ROOM
● コインロッカー LOCKER	● 赤ちゃん用 CHANGE THE DIAPER PLACE	

交通案内
 ● 小田急線 参宮橋下車 徒歩約7分
 ● 地下鉄千代田線 代々木公園駅下車 徒歩約10分【代々木公園方面出口】
 ● 京王バス 参宮橋西口(16番)22 代々木5丁目下車 渋谷駅西口(14番)12

The detailed site map shows the following areas and facilities:

- Meiji Shrine (明治神宮):** Meiji Shrine Shrine (本殿), Meiji Shrine Shrine (拝所), Meiji Shrine Shrine (拝所).
- Buildings:** National Youth Education Promotion Agency (本館), National Olympic Memorial Youth Center (本館), Meiji Shrine Shrine (本館), Meiji Shrine Shrine (本館).
- Other Buildings:** Meiji Shrine Shrine (本館), Meiji Shrine Shrine (本館), Meiji Shrine Shrine (本館).
- Grounds:** Meiji Shrine Shrine (本館), Meiji Shrine Shrine (本館), Meiji Shrine Shrine (本館).
- Facilities:** Meiji Shrine Shrine (本館), Meiji Shrine Shrine (本館), Meiji Shrine Shrine (本館).

平成28年度特別支援教育教育課程等研究協議会 参加者

当日の参加有無は問わない。

都道府県・市名を入力することにより自動に入力されるため、入力不要。

(記入例)

都道府県市名又は国立大学法人等名	
連絡担当者職名・氏名	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	

番号	都道府県・市名	国・公・私	氏名	所属・職名
〇〇	××県	国立	文科 一郎	県教育委員会△△課 指導主事

プルダウンにて選択して入力すること。

県市名は省略する(〇〇県と書かない)

視覚障害教育部会

番号	都道府県・市名	国・公・私	氏名	所属・職名
#N/A				

聴覚障害・言語障害教育部会

番号	都道府県・市名	国・公・私	氏名	所属・職名
#N/A				

知的障害・自閉症・情緒障害教育部会

番号	都道府県・市名	国・公・私	氏名	所属・職名
#N/A				

肢体不自由教育部会

番号	都道府県・市名	国・公・私	氏名	所属・職名
#N/A				

病弱・身体虚弱教育部会

番号	都道府県・市名	国・公・私	氏名	所属・職名
#N/A				

LD・ADHD等教育部会

番号	都道府県・市名	国・公・私	氏名	所属・職名
#N/A				

※複数名参加の場合は、セルを増やし記入すること

平成28年度特別支援教育教育課程等研究協議会
記入方法

都道府県市名		担当者職・氏名	
電話番号		電子メールアドレス	

担当者職・氏名は「当日の参加者」を記入してください。

教育課程の改善・充実に向け、以下の点について、取組状況を記入してください。

1 教育課程の改善に向けた取組

教育課程の編成に当たってはそれまでの教育課程を評価し、その結果によって教育課程の課題を明らかにし、改善すべき点を明確にし、その後の教育課程の編成に生かすよう、毎年度工夫することが大切です。校長のリーダーシップのもてこのPDCAを毎年繰り返していくことが求められます。そこで、次の項目を参考に教育課程の改善に向けた取組について具体的に記入してください。

- (1) 教育課程の改善に向けた基本方針、校内体制、スケジュール等
- (2) 教育課程の評価の実際や工夫
- (3) その後の教育課程の編成に生かされた改善の内容（授業改善の視点を含む）
- (4) その他

2 交流及び共同学習

交流及び共同学習は障害者基本法第16条にも定められており、共生社会を形成していくうえで、「交流及び共同学習」の更なる推進が求められています。各学校においては、学校や地域の状況、子供の障害の状態や学びの状況等を踏まえ、交流及び共同学習を教育課程に位置付けて実施することが重要です。そこで、次の項目を参考に交流及び共同学習の取組について具体的に記入してください。

- (1) 各学校等における交流及び共同学習の実施に当たっての配慮事項や留意事項等
- (2) 障害者スポーツを通じた交流及び共同学習の取組
- (3) 交流及び共同学習の評価と改善
 - ・障害のある子供の変容の視点
 - ・交流及び共同学習を通じた多様性の尊重や障害者理解の視点
 - ・その他の視点
- (4) その他

3 協議希望事項

教育課程の編成、指導計画の作成及び学習評価に関して、本研究協議会で協議を希望する内容があれば記入してください。

平成 2 8 年度特別支援教育教育課程等研究協議会
提出資料

都道府県市名		担当者職・氏名	
電話番号		電子メールアドレス	

教育課程の改善・充実に向け、以下の点について、取組状況を記入してください。

1 教育課程の改善に向けた取組

- (1) 教育課程の改善に向けた基本方針、校内体制、スケジュール等
- (2) 教育課程の評価の実際や工夫
- (3) その後の教育課程の編成に生かされた改善の内容（授業改善の視点を含む）
- (4) その他

2 交流及び共同学習

- (1) 各学校等における交流及び共同学習の実施に当たっての配慮事項や留意事項等
- (2) 障害者スポーツを通じた交流及び共同学習の取組
- (3) 交流及び共同学習の評価と改善
 - ・障害のある子供の変容の視点
 - ・交流及び共同学習を通じた多様性の尊重や障害者理解の視点
 - ・その他の視点
- (4) その他

3 協議希望事項

平成 2 8 年度特別支援教育教育課程等研究協議会
記入方法

都道府県市名		担当者職・氏名	
電話番号		電子メールアドレス	

担当者職・氏名は「当日の参加者」を記入してください。

教育課程の改善・充実に向け、以下の点について、取組状況を記入してください。

1 教科等の学習を支える言語の習得を図る教育課程の編成と実施

(1) 幼稚部段階における教育課程の編成・実施

例えば、言語概念、読み書きの力等をはぐくむために重視する内容や扱い方などを記入してください。

(2) 小学部～高等部段階における教育課程の編成・実施

例えば、言語概念や読み書きの力に遅れがあり、教科学習に課題がある場合の取組、難聴・言語障害の特別支援学級や通級による指導における取組などを記入してください。

2 外国語活動・外国語科の実施

例えば、短時間学習やまとめ取りなど教育課程編成の工夫、指導内容の精選や重点化、小中学部教員間の連携などを記入してください。

3 高等部の教育課程の編成・実施

例えば、生徒の実態や進路先の多様化を踏まえた科目等の設定などを記入してください。

4 協議希望事項

教育課程の編成、指導計画の作成及び学習評価に関して、本研究協議会で協議を希望する内容があれば記入してください。

平成 28 年度特別支援教育教育課程等研究協議会
提出資料

都道府県市名		担当者職・氏名	
電話番号		電子メールアドレス	

教育課程の改善・充実に向け、以下の点について、取組状況を記入してください。

1 教科等の学習を支える言語の習得を図る教育課程の編成と実施

(1) 幼稚部段階における教育課程の編成・実施

--

(2) 小学部～高等部段階における教育課程の編成・実施

--

2 外国語活動・外国語科の実施

--

3 高等部の教育課程の編成・実施

--

4 協議希望事項

--

平成28年度特別支援教育教育課程等研究協議会
記入方法

都道府県市名		担当者職・氏名	
電話番号		電子メールアドレス	

担当者職・氏名は「当日の参加者」を記入してください。

教育課程の改善・充実に向け、以下の点について、取組状況を記入してください。

1. 障害の程度が重度の幼児児童生徒のキャリア発達を促す取組

「教育課程企画特別部会 論点整理」(中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会教育課程企画特別部会、平成27年8月26日)によれば「子供たちに社会や職業で必要となる資質・能力を育むためには、学校と社会との接続を意識し、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育み、キャリア発達を促す「キャリア教育」の視点も重要である。」と指摘されています。幼児児童生徒が自分らしい生きた方を実現する過程であるキャリア発達を促すための教育活動について、特に、障害の程度が重度の児童生徒への取組など、その現状と課題について記入してください。

2. 自立と社会参加を見据え、幼児児童生徒が目的意識をもって学習意欲を高めるための技能検定等の開発や実施状況について (該当の項目に○印をつけてください。)

技能検定等の実施有無	1:実施	2:未実施	3:年度内に実施予定	4その他:()
技能検討等の実施主体	1:学校	2:教育委員会	3:その他()	
技能検定等の種類	1:ビルクリーニング	2:喫茶サービス	3:パソコン操作	4:事務処理
	5:介護	6:その他()		
技能検定等の実施回数	1:年1回	2:年2回	3:年3回以上	4:その他()
技能検定等の名称	()			

3. 知的障害のある児童生徒のための各教科の目標と観点別学習評価について

「教育課程企画特別部会 論点整理」によれば「子供たちにどういった力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉え、教員が指導の改善を図るとともに、子供たち自身が自らの学びを振り返って次の学びに向かうことができるようにするためには、この学習評価の在り方が極めて重要であり、教育課程や学習・指導方法の改善と一貫性を持った形で改善を進めることが求められる。」と指摘されています。各教科等を合わせて指導を行う場合においても、各教科の目標・内容に関連づけた指導や評価が重要になります。このことを踏まえて、現状と課題について記入してください。

4. 自閉症・情緒障害特別支援学級における教育課程編成

自閉症・情緒障害特別支援学級における教育課程編成について、特に、自立活動の指導の設定の仕方(時間の指導等)を踏まえた教育課程編成の現状と課題について記入してください。

5. 協議希望事項

教育課程の編成、指導計画の作成及び学習評価に関して、本研究協議会で協議を希望する内容があれば記入してください。

平成 28 年度特別支援教育教育課程等研究協議会
提出資料

都道府県市名		担当者職・氏名	
電話番号		電子メールアドレス	

教育課程の改善・充実に向け、以下の点について、取組状況を記入してください。

1. 障害の程度が重度の幼児児童生徒のキャリア発達を促す取組

--

2. 自立と社会参加を見据え、幼児児童生徒が目的意識をもって学習意欲を高めるための技能検定等の開発や実施状況（該当の項目に○印をつけてください。）

技能検定等の実施有無	1:実施	2:未実施	3:年度内に実施予定	4:その他:()
技能検討等の実施主体	1:学校	2:教育委員会	3:その他()	
技能検定等の種類	1:ビルクリーニング	2:喫茶サービス	3:パソコン操作	4:事務処理
	5:介護	6:その他()		
技能検定等の実施回数	1:年1回	2:年2回	3:年3回以上	4:その他()
技能検定等の名称	()			

3. 知的障害のある児童生徒のための各教科の目標と観点別学習評価

--

4. 自閉症・情緒障害特別支援学級における教育課程編成

--

5. 協議希望事項

--

平成 28 年度特別支援教育教育課程等研究協議会
記入方法

都道府県市名		担当者職・氏名	
電話番号		電子メールアドレス	

担当者職・氏名は「当日の参加者」を記入してください。

教育課程の改善・充実に向け、以下の点について、取組状況を記入してください。

1 教育課程の円滑な接続

(1) 前学年や前学部の各教科の目標及び内容によって編成される教育課程

当該学年に基づく進度での教科学習が難しい児童生徒に対する学習の系統に関する検討について、どのように工夫しているかを記入してください。

(2) 特別支援学校（知的障害）の各教科等によって編成される教育課程

卒業後の自立や社会参画に向けて、各教科の基礎的・基本的な内容を着実に身に付ける必要性和、目標・指導内容の精選・重点化に関する検討について、どのような視点や手続きで実施しているかを記入してください。

(3) 自立活動を主として編成される教育課程

各教科等の目標を自立活動の目標に向かう指導に「替える」ことに関する検討を、どのような方向性や手続きを踏まえて実施しているかを記入してください。

(4) 多様な学びの場における教育課程

幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等との間で、児童生徒等の学びが連続性のあるものとなるために、教育課程が円滑に接続していけるようにしていくためには、今後、どのような工夫や改善等が必要かを記入してください。

2 協議希望事項

教育課程の編成、指導計画の作成及び学習評価に関して、本研究協議会で協議を希望する内容があれば記入してください。

平成28年度特別支援教育教育課程等研究協議会
提出資料

都道府県市名		担当者職・氏名	
電話番号		電子メールアドレス	

教育課程の改善・充実に向け、以下の点について、取組状況を記入してください。

1 教育課程の円滑な接続

(1) 前学年や前学部の各教科の目標及び内容によって編成される教育課程

--

(2) 特別支援学校(知的障害)の各教科等によって編成される教育課程

--

(3) 自立活動を主として編成される教育課程

--

(4) 多様な学びの場における教育課程

--

2 協議希望事項

--

平成 2 8 年度特別支援教育教育課程等研究協議会
記入方法

都道府県市名		担当者職・氏名	
電話番号		電子メールアドレス	

担当者職・氏名は「当日の参加者」を記入してください。

教育課程の改善・充実に向け、以下の点について、取組状況を記入してください。

1 自立活動の指導と各教科の指導との関連

学校の教育活動全体を通じて行う自立活動の指導と各教科の指導との関連について、記入してください。例えば、自立活動の時間における指導の学習成果を各教科の中でどのように活用・応用させるか、各教科の指導と、病気の子供の心情や特性を踏まえた指導をどう関連付けて実施しているかなど。

2 病気の子供の交流及び共同学習

「交流及び共同学習」は、障害のある子供と障害のない子供と一緒に活動することで相互のふれ合いを通じて豊かな人間性をはぐくむことを目的とする交流の側面と、教科等のねらいの達成を目的とする共同学習の両方の側面が一体となったものです。平成 25 年の「病気療養児に対する教育の充実にについて（通知）」の中でその充実と、教育委員会が必要な助言又は援助を行うことが示されています。現状と課題、実践例や工夫等について、記入してください。

3 自治体における後期中等教育段階の病気の生徒に対する教育保障の現状と課題

平成 2 5 年の「病気療養児に対する教育の充実にについて（通知）」には、後期中等教育を受ける病気療養児について、編入学・転入学が円滑に行われるよう適切な対応を求めています。高等学校段階の生徒の学びの現状と課題、さらには今後の計画について、記入してください。

4 協議希望事項

教育課程の編成、指導計画の作成及び学習評価に関して、本研究協議会で協議を希望する内容があれば記入してください。

平成 2 8 年度特別支援教育教育課程等研究協議会
提出資料

都道府県市名		担当者職・氏名	
電話番号		電子メールアドレス	

教育課程の改善・充実に向け、以下の点について、取組状況を記入してください。

1 自立活動の指導と各教科の指導との関連

--

2 病気の子供の交流及び共同学習

--

3 自治体における後期中等教育段階の病気の生徒に対する教育保障の現状と課題

--

4 協議希望事項

--

平成28年度特別支援教育教育課程等研究協議会
記入方法

都道府県市名		担当者職・氏名	
電話番号		電子メールアドレス	

担当者職・氏名は「当日の参加者」を記入してください。

教育課程の改善・充実に向け、以下の点について、取組状況を記入してください。

1 通級指導教室担当者の育成について

<p>(1) 通級指導教室担当者の研修を都道府県、政令市として実施していますか？ <input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない <input type="checkbox"/> その他</p> <p>研修を実施している場合、内容と時間数、またその研修で育成する通級指導教室担当者の専門性について記入してください（別紙提出可）。 研修を実施していない、もしくはその他の場合、その理由等を具体的に記入してください。例えば、指導主事が半年に1回訪問して指導するなど。</p> <p>(都道府県担当者のみ回答)</p>
<p>(2) 通級指導教室担当者の研修を市区町村が実施していますか？ <input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない <input type="checkbox"/> その他</p> <p>研修を実施している場合、内容と時間数が特徴的な研修をいくつか記入してください（別紙提出可）。 研修を実施していない、もしくはその他の場合、都道府県から市区町村に対して指導を行っていることなどがあれば具体的に記入してください。例えば、市区町村の研修については把握していないなど。</p>

2 通級指導教室の教育課程、指導方法、教材の集約、共有について

<p>(1) 都道府県、政令市として、通級指導教室の指導方法等の集約、共有を行っていますか？ <input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 実施していない <input type="checkbox"/> その他</p> <p>通級指導教室の教育課程、指導方法、教材の集約、共有を実施している場合、集約している内容、その方法を記入してください。実施していない、もしくはその他の場合、その理由を具体的に記入してください。例えば、市区町村に任せているなど。 また、教育課程に関する取組や対応に関して、本研究協議会で共有したいことがあれば、記入してください。</p> <p>(都道府県担当者のみ回答)</p>
<p>(2) 市区町村が通級指導教室の指導方法等の集約、共有を行っている場合、都道府県として情報を把握していますか？ <input type="checkbox"/> 把握している <input type="checkbox"/> 把握していない</p> <p>通級指導教室の指導方法や教材の集約、共有を把握している場合、その内容及び方法を記入してください。把握していない場合、その理由を記入してください。</p>

3 中学校における通級による指導の課題及びその課題解決に向けて取り組んでいる施策があればお書きください。

4 協議希望事項

教育課程の編成、指導計画の作成及び学習評価に関して、本研究協議会で協議を希望する内容があれば記入してください。

平成28年度特別支援教育教育課程等研究協議会
提出資料

都道府県市名		担当者職・氏名	
電話番号		電子メールアドレス	

教育課程の改善・充実に向け、以下の点について、取組状況を記入してください。

1 通級指導教室担当者の育成について

(2) 通級指導教室担当者の研修を都道府県、政令市として実施していますか？ () 実施している () 実施していない () その他
(都道府県担当者のみ回答) (2) 通級指導教室担当者の研修を市区町村が実施していますか？ () 実施している () 実施していない () その他

2 通級指導教室の指導方法や教材の集約、共有について

(1) 都道府県、政令市として、通級指導教室の指導方法等の集約、共有を行っていますか？ () 実施している () 実施していない () その他
(都道府県担当者のみ回答) (2) 市区町村が通級指導教室の指導方法等の集約、共有を行っている場合、都道府県として情報を把握していますか？ () 把握している () 把握していない

3 中学校における通級による指導の課題及びその課題解決に向けて取り組んでいる施策があればお書きください。

--

4 協議希望事項

--